

2015年12月9日
株式会社海外交通・都市開発事業支援機構

ブラジルにおける都市鉄道事業への支援を決定

株式会社海外交通・都市開発事業支援機構(以下「JOIN」)(東京都千代田区、代表取締役:波多野琢磨)は、三井物産株式会社(以下「三井物産」)(東京都千代田区、社長:安永竜夫)及び西日本旅客鉄道株式会社(以下「JR 西日本」)(大阪府大阪市、社長:真鍋精志)とともに、ブラジルにおける都市鉄道4事業に参画するため、同事業に対し今後約56億円の出資を行うことを決定し、本日国土交通大臣の認可を得ました。

同事業は、ブラジル最大級のコングロマリットである Odebrecht(オデブレヒト)グループと三井物産、JR 西日本、JOIN からなる日本グループが共同出資する Odebrecht Mobilidade S.A.(以下「OM」)が主体となって進めていくこととされており、①リオデジャネイロ州都市近郊鉄道(SuperVia)(開業済)、②サンパウロ地下鉄6号線(2021年開業予定)、③リオデジャネイロ市 LRT(2016年開業予定)、④ゴイアニア市 LRT(2018年開業予定)の4事業からなる、本邦企業による本格的な海外旅客鉄道事業となります。

ブラジルにおいては、2016年にオリンピック・パラリンピックの開催が予定されているリオデジャネイロを始め、都市部における輸送力の増強が喫緊の課題とされています。今般の4事業は、いずれも各都市における交通需要を適切に吸収し、今後の都市の発展の基礎的インフラとして機能することが期待されています。JOIN では、昨年11月から本事業への投資を進めている三井物産の持ち分の一部を、JR 西日本と同時に取得する形で本事業へ参画し、今後の州・市政府等との交渉の円滑化を図り、我が国事業者のリスク低減に資するとともに、我が国の鉄道運営に関するノウハウを活用し、技術者の派遣、現地技術者の人材育成を行うことにより、安全性・サービスの向上を図って参ります。

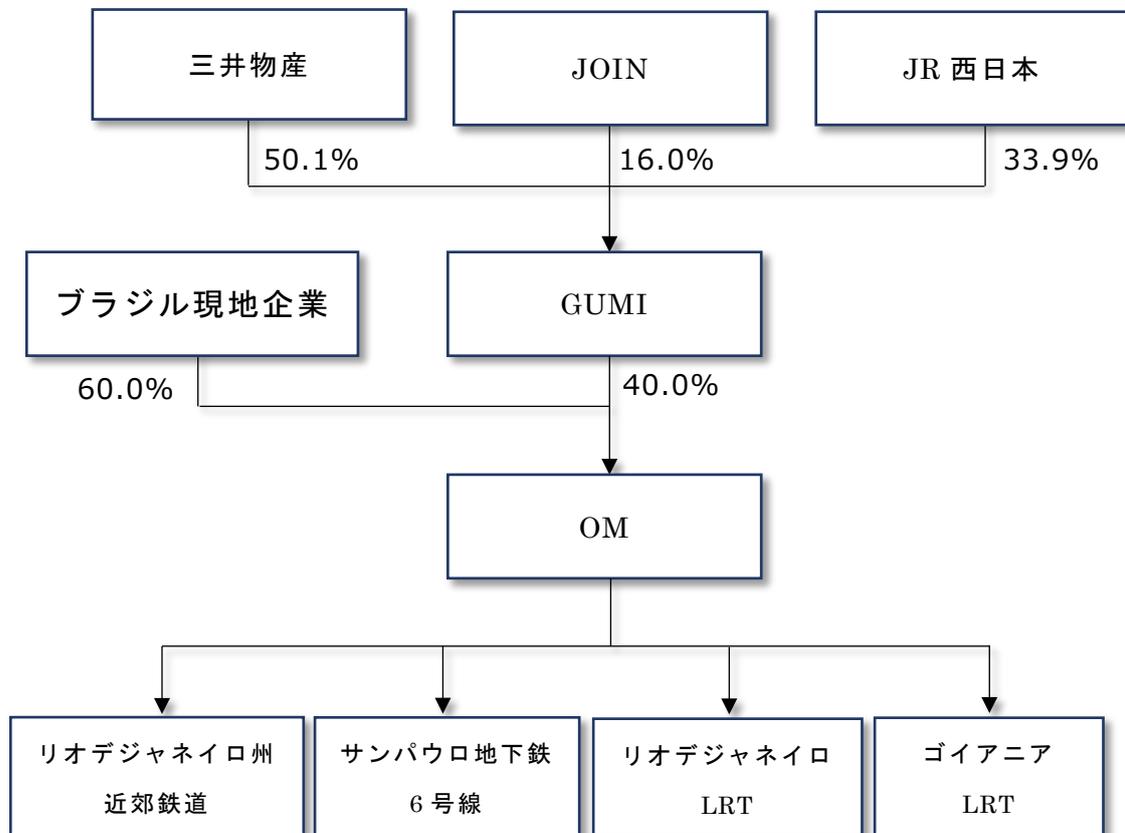
従来、我が国の鉄道事業関連の海外進出は、車両や信号機器等の輸出の分野では実績を積み重ねてきたものの、鉄道事業者による海外旅客鉄道事業への本格的な参画はありませんでした。今般の JOIN の支援及び JR 西日本の事業参画により、海外鉄道運営の実績が蓄積され、今後の我が国鉄道事業者の益々の海外展開の促進に資することを期待しています。

【海外交通・都市開発事業支援機構 (JOIN)】

JOIN は、海外のインフラ市場への日本企業の参入を促進するとともに、これに伴う我が国企業のビジネスチャンスを拡大するため、海外インフラプロジェクトに民間企業と共同で出資を行うほか、相手国政府等との交渉を行うこと、日本の技術と経験をプロジェクトに活かすための人的支援を行うこと等を役割として、昨年 10 月 20 日に、政府及び民間企業の出資により設立されました。

(問い合わせ先)	㈱海外交通・都市開発事業支援機構 事業推進部 伊藤 TEL : 03-5293-6700 FAX : 03-3218-5561
----------	--

【投資ストラクチャー】



【対象事業】

	リオデジャネイロ州 近郊鉄道 (SuperVia)	サンパウロ 地下鉄 6 号線	リオデジャネイロ LRT	ゴイアニア LRT
事業形態／期間	コンセッション／ 1998～2048 年	PPP／ 2014～2039 年	PPP／ 2013～2038 年	PPP／ 2016～2051 年
開業予定時期	開業済	2021 年	2016 年	2018 年
OM 出資比率	60.0%	13.7%	24.9%	90.0%
システム／路線距離	近郊線／270km	地下鉄／15.3km	LRT／28km	LRT／14km
輸送能力	170 万人／日	100 万人／日	28.5 万人／日	24 万人／日